

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 肱川 柚木・如法寺地区の景観について	
水系/河川名 : 肱川水系肱川	河川分類 : 大河川
河川の流域面 1210	整備計画流量 : 6200m <sup>3</sup> /s セグメント : 2-1
事業 : 災害復旧	事業開始年度 平成30年度
目標設定 : 定性的	段階 : D(実施・施工時)
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、縦断的連続性の保全・再生・創出	
工法(主な) : 築堤、護岸整備	
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、歴史・文化への配慮、委員会、協議会等の開催	

## 背景・課題、目標設定

■平成30年7月豪雨により、大きな被害を受けた肱川流域において、激特事業(H30～R5)により平成30年7月豪雨洪水の再度災害防止のため河川整備を行うものであるが、対象箇所には特に景観に対して配慮を必要とする箇所が存在している。

■大洲市柚木・如法寺地区においては臥龍山荘(国指定重要文化財)や鶺鴒いなど、地域を代表する景勝地が存在していることから優れた水辺景観の保全・創出を行う必要があった。

■そのため、河川構造物の景観整備に関する検討を行う場として、『肱川 激特事業景観協議会』を開催し地元関係者、大洲市及び学識者等と連携のもと景観、歴史、文化等の地域資源と調和した景観対策を検討し築堤計画に反映した。

<テーマ> 肱川に対する防災力を向上させ、川との暮らしを継承して地域を発展させる河川整備  
<コンセプト>

- ①川辺をいかした暮らしの風景・文化の継承
- ②新しい水辺の活動の場と風景の創出
- ③次世代に残す肱川の流域景観の創出



臥龍山荘(国指定重要文化財)



肱川の鶺鴒い

## 取り組み内容・対策例(1/2)

## ■肱川激特事業景観協議会の実施

・協議会メンバーは、地元関係者、学識者及び河川管理者などにより構成され、令和元～2年度で合計3回開催。

・協議会では、現地視察や模型による構造比較などを通じ、地域の暮らしや歴史文化を踏まえた活発な議論がなされ、激特事業における柚木・如法寺地区の整備テーマ・コンセプトに基づく、整備方針を決定。

## ■検討内容

## ・柚木地区の検討内容

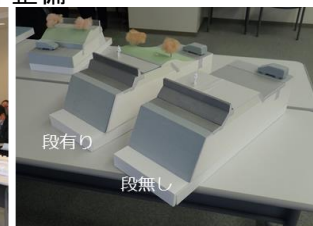
- 方針1: 分節された石積みと坂路という柚木の風景の継承
- 方針2: 柚木地区と肱川を分断しない水辺空間の創出

## ・如法寺地区の検討内容

- 方針3: 景勝地である臥龍山荘(不老庵)からみる風景に相応しい景観創出
- 方針4: 地域行事や川辺活動を支え、如法寺地区と肱川を分断しない護岸整備



第3回 肱川激特事業景観協議会  
【令和2年11月19日】



柚木堤防の模型による構造比較

## 取り組み内容・対策例 (2/2)

## ■激特事業への反映

## ●柚木地区の具体案

- >【反映①】まちと川辺をつなぐ坂路(雁木)のある風景の保全
- >【反映②】まちと堤防を柔らかくつなぐ立体的な緑地の創出
- >【反映③】臥龍山荘(不老庵)からみる肱川の風景として相応しい護岸整備:リブ等による修景

## ●如法寺地区の具体案

- >【反映③】臥龍山荘(不老庵)からみる肱川の風景として相応しい護岸整備:リブ等による修景
- >【反映④】背後地の公園との一体化によるまちと川辺を柔らかくつなぐ立体的な緑地の創出



現在の状況

&lt;如法寺地区の例&gt;



激特による堤防嵩上げにあわせ  
"リブ"による修景を取り入れ  
圧迫感を軽減



工事完成イメージ

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## ■アピールポイント

・周辺に大洲城や旧町並みをはじめ様々な景勝地、国指定重要文化財の臥龍山荘や日本三大鵜飼いの一つ「肱川の鵜飼い」などが存在する中での激特事業(災害対応)箇所における景観への配慮について、地元関係者意見も踏まえた対応を実施。

・協議会の中で出てきたまちづくり的な要素を含むものについては、かわまちづくり事業と連携する対応(今後の検討ベースを提案)を行い激特事業後も継続して良好な景観が得られるよう対応。

## 備考